

「さいたま市総合振興計画審議会 第1部会」意見整理表

資料2-2

《都市基盤・交通の分野》

施策1：低炭素で質の高い生活環境を提供する市街地の形成

整理 番号	意見の概要	修正案
1	公園の整備だけでなく、マネジメントや運営管理の発想を盛り込めるよう表現を工夫した方がよい。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(2)の2つ目の・を、 「地域特性や市民ニーズを踏まえた特徴ある公園の整備を進めるとともに、市民や地域が参加する管理運営の促進に取り組みます。」 に加筆、修正

◎「成果目標」に関して調整部会において検討とするもの

	意見概要
施策1	施策1の成果目標について、市民アンケートに基づく市民満足度だけでなく、二酸化炭素削減率や緑化率など統計データ等から見た客観指標があってもよい。
施策2	施策2の成果目標について、魅力的な都心・副都心としての感じ方を、滞在時間に置き換えて測ってよいものか、悩みどころである。
施策3	施策3の成果目標について、ストレスフリーという言葉ではなく、もう少し分かりやすい表現を用いた方がよいのではないかと。
施策全般	5年後、10年後にも比較できるよう文言も含め吟味する必要がある。
施策全般	市民アンケート結果を成果目標として用いるならば、市民アンケートを継続的に実施することが前提となる。
施策全般	次期基本計画に新たに成果目標を設けたことは、市民側に立って「向上させる」という意気込みを示す意味で評価できる。

施策全般	欧州や国内他市における成果目標を参考にして、本市だけでなく、他地域の満足度や整備率等と比較するなど、横とのチェックができた方が良い。
施策全般	5年後、10年後にもあまり費用をかけずにデータが取れるような持続可能な指標を置いた方が良い。
施策全般	目標値について、根拠がないのであれば設定する必要はないように思う。
施策全般	今後のいろいろな変化を踏まえると、成果指標をあまり細かく設定することは難しい。

◎ 「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか？」 に関して調整部会において検討とするもの

	意見概要
施策全般	上からの押し付けではなく、こんな参加の仕方もあるというように、市民がやりたいと思える表現にしてほしい。
施策全般	行政計画は市民の意見が反映しているように受け取れないので、このような柔らかい表現となっていると良い。
施策全般	「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか？」が各施策のどこに繋がるのかといった流れが分かるつくりになると良い。
施策全般	タイトルがやや古い市民参加の表現であり、今はもっと主体的に市民が参加するケースもあるので、表現の工夫が必要ではないか。
施策全般	施策を利用する人の立場でできているという視点は重要である。例えば、自転車専用レーンを整備する場合、利用者に、安全に使うための最低限のルールを守ってもらうような表現の工夫があっても良い。

◎「重点戦略」の検討の際に参考とするもの

意見概要	
施策全般	東西都市軸が弱く不便であり、車の二酸化炭素排出量が多いため、公共交通への利用転換を図り、低炭素なまちをつくとともに、東西の流れをつくるのが重要である。また、高齢化が進む中で、モビリティの問題を考える必要がある。
施策全般	むやみに情報を発信するのではなく、まちをプロデュースすることが大事で、例えば、さいたまスタイルなど、有効な情報をいかに作り出していかかが、これから求められている。
施策全般	郊外に多くの大型店舗が進出している中で、人が来ている大宮や浦和以外の駅周辺地域にいかに人を集めるか、いかに商店街を活性化させるかが課題である。
施策全般	自転車利用推進の目的としては、二酸化炭素排出量削減などのグリーンイノベーションに加え、健康増進などライフイノベーションの側面も考えられる。
施策全般	さいたまらしい優れたものをどこかで強調できるとよい。例えば、東京に近く開放的である、防災性に優れているなど。

◎「次期実施計画」策定の検討や事業実施の際に参考とするもの

意見概要	
施策1、3	都市計画道路の整備率は全ての政令指定都市の中で一番低く、公園も少ない。
施策3	ICT(情報通信技術)を交通など様々な分野とリンクさせるという視点を持ってほしい。
施策全般	都心・副都心という文言より、例えば、大宮なら交通と商業のまち、新都心、浦和なら文化を発信するまちなど、通称を付けたほうがよいのではないか。

◎その他

施策全般	都市基盤・交通の分野において記載されている用語について、素人でもわかるような表現を工夫してほしい。
------	---